

令和7年度 第4回社会教育委員会議 会議次第

日時 令和8年2月16日(月)

午後3時00分から

場所 第二庁舎4階 教育委員会会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 案 件

(1) 令和7年度活動報告等について 【資料1】

(2) 地域ぐるみ協育フォーラムの振り返りについて 【資料2】

(3) 令和8年度社会教育関係団体に対する補助金について 【資料3】

(4) その他

- ・令和6年度神奈川の社会教育委員活動(県社教連会誌)の
神奈川県ホームページへの掲載について

【資料4】

4 閉 会

令和7年度 社会教育委員会議 活動報告

資料 1

厚木市社会教育委員会議関係

期 日	会議等の名称	内 容	場 所	参加人数
6月24日(火) 15時00分	第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・議長・副議長の選出について ・会議の公開及び会議録について ・令和7年度活動計画(案)について ・各種委員の選出について ・小委員会委員の選出について 	第二庁舎15階 農業委員会 会議室	15人
9月18日(木) 15時00分	第1回 小委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度フォーラムについて 	第二庁舎4階 教育委員会 会議室	7人
10月24日(金) 15時00分	第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度フォーラムについて 	第二庁舎4階 教育委員会 会議室	12人
12月16日(火) 14時00分	第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度フォーラムについて ・「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」について 	第二庁舎4階 教育委員会 会議室	13人
2月14日(土) 13時30分	フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度フォーラム 	保健福祉 センター	13人
2月16日(月) 15時00分	第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度活動報告等について ・地域ぐるみ協育フォーラムの振り返りについて ・令和8年度厚木市社会教育団体に対する補助金について 	第二庁舎4階 教育委員会 会議室	
4月予定	配信	「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」 tetoruにて市立小学校児童の保護者へ配信		

神奈川県社会教育委員連絡協議会関係等

期 日	会議等の名称	内 容	場 所	参加人数
5月12日(月)	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度実施事業について ・令和7年度事業計画(案)について ・令和7年度全国社会教育委員連合表彰候補者の選考について ・第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について ・令和7年度役員等について 	総合教育センター	1人
6月9日(月)	総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業報告並び会計報告 ・令和7年度事業計画案並びに予算案 ・令和7年度役員について ・その他 	かながわ県民センター	1人
9月1日(月)	研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「地域の教育力向上のために社会教育委員ができること」 ・事例発表 	総合教育センター	3人
10月17日(金)	社会教育委員連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村の活動報告及び情報交換 ・講演「社会教育の可能性～地域コミュニティの基盤づくり～」 ・グループ協議 	厚木合同庁舎	5人
12月8日(月)	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度実施事業について ・令和8年度地区研究会について ・令和7年度第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について 	総合教育センター	1人
11月20日(木) 11月21日(金)	社会教育研究大会 関ブロ	第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会	横浜市	6人
3月9日(月)	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度実施事業について ・令和8年度事業計画(案)・予算(案)について 	総合教育センター	1人

《 令和7年度地域ぐるみ『協育』フォーラム 参加者アンケート 速報値 》

回収枚数: 66 人	参加者数 97 人	開催日: 令和8年2月14日(土)
------------	-----------	-------------------

※2/16 8:30現在

設問1 あなたの所属を教えてください

行政関係	学校関係	地域活動者	その他
12 人	24 人	24 人	6 人
18.2 %	36.4 %	36.4 %	9.1 %

設問2 今回参加して感じたことを教えてください

① 講演の内容や時間について	とてもよかった	よかった	よくなかった	わからなかった
	42 人	24 人	0 人	0 人
	63.6 %	36.4 %	0.0 %	0.0 %
② グループワークの内容や時間配分について	とてもよかった	よかった	よくなかった	わからなかった
	33 人	27 人	2 人	0 人
	50.0 %	40.9 %	3.0 %	0.0 %

設問3 今回参加して得た内容は、今後ご自身の職や活動で参考になると思えますか

とても参考になる	少し参考になる	参考にならない
41 人	22 人	0 人
62.1 %	33.3 %	0.0 %

設問4 地域学校協働活動や家庭教育支援をしていく上で、どのような内容に関心がありますか(複数可)

親育ち学習	こどもの地域参画	関係機関や関係団体との連携
21 人	29 人	27 人
31.8 %	43.9 %	40.9 %
活動の人材確保	活動の先進事例情報	コーディネーター育成
33 人	8 人	15 人
50.0 %	12.1 %	22.7 %

設問5 地域学校協働活動に関するフォーラムはどんな方に参加いただくといいと思いますか

(今回の参加者・・・教育長、教育委員、公民館地区館長・地区分館長、公民館長、

学校運営協議会会長、小中学校長、推進員、教育関係団体、社会教育委員)

今のままでいい	変えた方がいい
52 人	12 人
78.8 %	18.2 %

設問1 あなたの所属は(その他の回答)

- 1 学校運営協議会
- 2 青少年健全育成会
- 3 睦合東
- 4 子ども会(2)

設問2 ①講演の内容や時間について(その他自由記述欄)

- 1 具体的な取組の提示があつて参考になった
- 2 色々な活動=地域学校協働活動であるで言いきると誤解が生ずる！
(枠組みを大きくすると今までと変わらない)

設問2 ②グループワークの内容や時間配分について(その他自由記述欄)

- 1 とてもいい手法でした
- 2 発展的に考えられなかったせいかもしれないが、ただのゲームになっていたように思う
- 3 但し、グループワークの時間が短かった。
- 4 ゲームのルールにとらわれ、時間が有効に使えなかったように思います。

設問4 選択肢以外で、関心のある内容(その他自由記述欄)

- 1 持続可能なまちづくり
- 2 地域のつながりの構築

設問5 地域学校協働活動に関するフォーラムはどんな方に参加いただくといいと思いますか(自由記述欄)

- 1 PTA役員、企業関係者、地域スポーツ団体等関係者
- 2 一般住民の方
- 3 ボランティアなど実働される方
- 4 もっと民間・企業の方の参加も
- 5 プラス自治会・PTA
- 6 一般の保護者も参加のできる様だと良い
- 7 学校先生
- 8 協議会は会長に限定しなくてよいのでは?一般の保護者、自治会員にも案内しては?
- 9 企業や大学の方にも声をかけてみては
- 10 あまりない機会なので、課題などを地域ごとに話せる時間があるとよい。
- 11 教員も参加した方がよい

設問6 地域活動を活性化させていく上で、どのような課題があると考えていますか。

- 1 各立場(学校、地域・保護者など)同士の理解
- 2 活動に参画できる人材が足りない
- 3 活動の人材確保。熱心な人が地域にはたくさんいらっしゃるが、老れい化が進んでいる。
後継者の育成が大事だと思う
- 4 トレーニングで思いもよらない組み合わせもできるのではと思った
- 5 一人でも多くの方に、地域活動を知って頂く事が必要だと考えていて、今、チラシを作成しております。
- 6 何でも地域活動の一環だと聴いてハードルが下がった。
- 7 金銭的な面、時間的な面
- 8 学校と地域の更なる連携
- 9 ・自治会の衰退・PTA活動、任意団体としての活動継続のむずかしさ・部活動の地域展開
・活動の人材確保
- 10 地道にしっかりと、継続的にやること。
- 11 組織の簡素化、人材の育成
- 12 協力性と人材選出
- 13 地域企業と連携し、生徒の職場見学等の場を作る。商工会議所に協力してもらおう。
- 14 多くの人に参加していただく為に、どうしたら良いのかを考える必要があると思った。

- 15 世の中の忙しさ。
- 16 活動の人材の確保
- 17 働き方改革との両立
- 18 信頼関係。
- 19 この様な会を定期的に開くことで自分自身も今一度考えることができ
学校を地域と共につくっていききたいと思います。
- 20 学校の理解、価値観の向上(学校教育の中で地域活動を活用する価値)
- 21 地域の人たちは、これまでの流れで継続するのではなく、常に新しいこと加える考えを取入れたい。
- 22 世代交たい。今あるよい活動を、次の時代にどうつなげていけるかが課題です。
- 23 地域学校協働活動本部の温度差
- 24 次代に継ぐ人材育成
- 25 中学校での活動の困難な点
- 26 アイディアをたくさん出せたので、何ができるか話し合っていきたいです。
地域学校協働活動について、公民館の担当の方によって、取組に差があるような気がします。
- 27 中学校での推進活動を行っていく上で、きっかけ作り等、活動の難しさ。
- 28 活動の人材確保
- 29 地域は人材不足です。(高齢化が著しい)小中学生→子供はほとんどいません。(駅に近い地域)
- 30 地域の方々に地域学校協働活動の考え方などが理解されていないと考えています。
学校主体ではなく、地域が主体となるべきものがまだ多いように思いますが、
地域に理解していただけるようになるとよいと思います。
- 31 地域学校協働活動推進員はあまり長く係わらず、地区の自治会から、
ローテーション的に行なってもらうのも大事だと思います。
- 32 1コーディネーターの育成(役割や機能はわかっているが..)
2コーディネーターの活用(具体時な活用がむずかしい)
- 33 教師一人一人が地域学校協働活動の価値観を認識すること。
教育課程と協働した活動が持続可能なまちづくりにつながるという価値観の認識
- 34 学校側の受け入れ態勢
- 35 厚木市は地域学校協働本部となる公民館の理解と推進員の連携。学校運営協議会の委員の理解。
市で研修会は行われているが、みなさんが参加されない方が多く、地域での研修が定期的に必要だと思います。
地域学校協働活動の一年目だけ地域で研修を行いました。定期的な研修が必要だと思います。
- 36 運協との連携

設問7 今後のフォーラムについて、ご希望やご意見がありましたら自由にお書きください。

- 1 PTAも参加したら良いかも。
- 2 来る2月26日に学校運営協議会会長研修が予定されていますか、文科省が推進している
学校運営協議会と地域学校協働活動の一体化の観点から同一日の開催にしたいです。
- 3 講師選定から会場連備、運営など様々なご配慮をありがとうございました。
- 4 全体の時間が長く非常につかれました。
- 5 ありがとうございました。
- 6 楽しい講演でとてもよかったです。
- 7 楽しく勉強出来ました
- 8 グループワークのメンバーは他小中学校区の方がよかった→いつものメンバーでは話題が広がらない。
他の活動を知りたかった。
- 9 体験談の成功したもの、失敗したもの
- 10 具体的なアイデアを生む、楽しいワークが体験できとても価値ある研修会でした。
- 11 とても良かったです。ありがとうございました。
- 12 中学校の事例ももう少しきいてみたいです
- 13 1今後も続けてください 2各公民館区の研修も推進してください

- 14 ・学校教育との協働にしないといけない・イベント活動では地域活動になる
- 15 市川先生もおっしゃっていたが、ベースのあった学校の話では活用しにくいのでは？
むしろ市内で具体的に小さなことでもこれが出来ている。逆にここが難しいと共有した方が前進できるのでは？
- 16 非常に良かった、楽しく出来ることが良かった。
- 17 とても学びの多い時間でした。講師、委員のみなさまのお話もすばらしかったです。ありがとうございました。
- 18 本日の内容は充実した物でした。が、チト長いかな？
- 19 私も市川先生のパッションを感じました。
- 20 学校運営協議会と合同で行なってはどうか
- 21 地域の方には高齢の方も多く、拘束時間が長いと大変そうでした。講師の先生のお話は楽しかったですが、厚木市は取り組みが進んでいるので、今日の前段の話は短くてもよかったですように思います。
後半の協議のように、地域に生かせるものがよいと思いました。

≪ 令和6年度地域ぐるみ『協育』フォーラム 参加者アンケート 集計報告 ≫

回収枚数: 65 人	参加者数 92 人	開催日: 令和7年1月18日(土)
------------	-----------	-------------------

設問1 あなたの所属は

行政関係	学校関係	地域活動者	その他
10 人	32 人	18 人	0 人
15.4 %	49.2 %	27.7 %	0.0 %

設問2 今回参加されて、どのように感じましたか？

① パネルディスカッションの内容や発表時間について	とてもよかった	よかった	よくなかった	わからなかった
	33 人	29 人	1 人	1 人
	50.8 %	44.6 %	1.5 %	1.5 %
② グループワークの内容や時間配分について	とてもよかった	よかった	よくなかった	わからなかった
	26 人	33 人	1 人	0 人
	40.0 %	50.8 %	1.5 %	0.0 %

設問3 今回参加して得た内容は、今後ご自身の職や活動で参考になると感じますか？

とても参考になる	少し参考になる	参考にならない
48 人	12 人	1 人
73.8 %	18.5 %	1.5 %

設問4 地域と学校との協働活動や地域で家庭教育支援をしていく上で、どのような内容に興味がありますか？(複数可)

親育ち学習	子どもの地域参画	活動の人材確保
9 人	38 人	26 人
13.8 %	58.5 %	40.0 %
コーディネーター育成	活動の先進事例情報	関係機関や関係団体との連携
13 人	11 人	23 人
20.0 %	16.9 %	35.4 %

設問5 地域学校協働活動の研修をどんな方に受けていただくといいと思いますか？

(今回の参加者…教育長、教育委員、公民館地区館長・地区分館長、公民館長、

学校運営協議会会長、小中学校長、推進員、教育関係団体、社会教育委員)

今のままでいい	変えた方がいい
42 人	9 人
64.6 %	13.8 %

設問1 あなたの所属は(その他の回答)

- 1 なし

設問2 ①パネルディスカッションの内容や発表時間(その他自由記述欄)

- 1 質問ができると良かった。いろいろ聞きたいことがありました。
- 2 質問する時間があってもよかった。
- 3 内容については理解できたが、その事例が子どもの成長にどのような影響を及ぼしたかについてコメントが欲しかった。
- 4 様々な地域の様々な活動が聞けて、とても参考になった。
- 5 具体的な事例があり、わかりやすかった。
- 6 具体的内容が聞けて良かった。
- 7 いろいろな学校の活動や推進員さんの想いが聞けて参考になった。
- 8 事例をたくさん発表していただき、とてもわかりやすかった。
- 9 事例の内容が具体的で、参考になった。
- 10 いろいろな地域の活動、進んでいるところや、これから進めていこうとしている流れがわかってよかった。
- 11 具体的な活動がわかり、参考となった。
- 12 地域学校協働活動となる実践が少ない。(理解されていない)
- 13 「気付き」の大切さが分かった。

設問2 ②グループワークの内容や時間配分について(その他自由記述欄)

- 1 1時間程度でよい。
- 2 具体的な取り組みについて話し合うことができて良かった。
- 3 中学校長とコミュニケーションが取れた。新たなヒントが生まれた。
- 4 時間の配分をしてほしかった。
- 5 同じ地域の方々共通認識を持って、話し合いを深めることができた。
- 6 ①～④まで通しても良かったかもしれません。話がなかなか止まず、進行の先生に申し訳なかったです。
- 7 一つ一つの時間が少なく、いろいろな人の意見が聞けない、言えない。
- 8 時間が短かった。
- 9 公民館区ということで話しやすかったです。今後活かせるアイデアが出しやすかったです。

設問4 選択肢以外で、関心のある内容(その他自由記述欄)

- 1 具体的にどのようにして人材を確保していくのか。
- 2 地域学校協働活動・協議会の存在・活動を周知する。
- 3 各地区でもっと研修会を立ち上げないと思う。(公民館が実践する)
- 4 今の子どもが体験し、大人になって地域で活躍するを考える。

設問5 地域学校協働活動の研修をどのような方に受けていただくと良いと思いますか。(自由記述欄)

- 1 小中学校の一般教員も参加できると良いと思いました。
- 2 他の方が参加しても当事者意識が低いと思われる。
- 3 地区の代表者だけでなく、各事業に直接参加している人。
- 4 とりあえずは今のままの対象者で進め、いずれは広く一般地域人に聞いていく事。
- 5 公民館の方・学校は必ず参加してほしい。自治会長さんや各団体の代表の方にも情報として参加してらうのはどうか。
- 6 自治会長などにも受けてもらうと理解が深まると思う。
- 7 今のままでも良いが、もう少し若い職員にも参加させたい。
- 8 PTA等保護者に周知する機会(学校から発信しているか。社教からも。)
- 9 自治会関係者、PTA関係者
- 10 多くなってしまうが、運営協議会のメンバーにも。
- 11 学校関係以外の方、地域活動に興味はあるがこれから関わりたい方
- 12 PTAも加えた方が良い。
- 13 自治会長
- 14 各学校での展開もありかなと思います。
- 15 地域の各団体の長
- 16 自治会や各組織の代表も理解せねばならないので追加した方が良い。
- 17 自治会長
- 18 地域の方、一般教員

設問6 地域活動を活性化させていく上で、どのような課題があると考えていますか。

- 1 地域の方との共通認識(お互いのためになるという認識)
- 2 自治会、子ども会の加入率が減っていることを危惧しています。顔の見える関係。
- 3 推進員の負担が大きくなりすぎないこと。すでに行っていることを、推進活動として取り組むためにはどのようにすればよいかということ。
- 4 学校運営協議会において児童や地域におけるさまざまな課題を抽出して一つ一つ解決するにあたり学校と地域が一丸となって取り組む方向だと思う。
- 5 もう少し推進員の方に内容を説明した方が良い。
- 6 一般教職員(会計年度含む)のコミュニティースクールへの理解
- 7 情報の発信・情宣
- 8 学校協議会などへの地域の人の理解
- 9 子供社会に必要以上に大人の思いが入りすぎないように注意していく。
- 10 一般の方への周知
- 11 公民館によって温度差を感じる。学校は思いをもって取り組んでも…という地区も…
- 12 どのように学校情報を発信していくかが課題
- 13 学校区と公民館区にズレがあり、学校中心の取り組みになると参加できないことがある
- 14 親世代が活動に参加が少ない。興味を持たせたい。
- 15 地域住民の理解。委員間でのさらなる意見交換。
- 16 コミュニティーの弱体化(自治会、子ども会)、情報発信の強化
- 17 現状としては、地域学校協働活動推進員を理想の形で機能させるには無理があると感じる。学校運営協議会だけでも十分だと思われる部分も感じられる。
- 18 情報共有の難しさ。校内の組織化。
- 19 それぞれの家庭の理解が必要。
- 20 委員が当事者意識を高め、熟議できるようにする。
- 21 自治会離れ。各家庭が地域コミュニティーに所属しない流れがある。
- 22 活動の周知
- 23 教職員の認識不足
- 24 地域の活性化のためには、目的の共有を図ること。

- 25 情報交換、意見交換の機会の設定(定例会ではなく)やシステム作り
- 26 高齢化
- 27 地域住民の理解を得て、協力体制を整える。
- 28 地域の現状が厳しい。地域の教育力が乏しくなってきたこと。まず、地域社会に力がなくなってきたから…とご意見がありました。そんな中でも前を向いてやっていきたい。
- 29 学校と地域が協力してやっていくためには、公民館が核となって推進していく必要がある。
- 30 学校区と地域の区域の差
- 31 人集め
- 32 まずは横展開
- 32 それぞれに取り組んでいる内容に対して、学校と公民館で目的を共有することの大切さを実感しました。
- 33 学校と地域でよく話し合い目的を共有すること。学校情報を同地域に伝えていくか。
- 34 時間確保
- 35 情報をもっと発信してもらいたい
- 36 地域、保護者、一般の方への周知
- 37 地域学校協働活動の本当の目的を理解させないと単なるイベントand単なる地域活動で終わってしまう。
- 38 地域の意識
- 39 学校の教員は異動があり代わってしまうが、地域の人は代わらないので、人が代わっても継続できる仕組みを作ること。
- 40 試行してみることに。
- 41 グループディスカッションの中で予算という話が。
- 42 どのようにしたらより地域に開かれるのか。
- 43 活動の人材確保。公民館区と学区の違い。

設問7 今後のフォーラムについて、ご要望やご意見がありましたら自由にお書きください。

- 1 あまり参考にならないと思う。
- 2 ありがとうございます。(4名)
- 3 全地域に推進員が委嘱されるにあたり、全市で同じ方向に向いてすすめていかれるとよいと思います。
- 4 大変勉強になりました。ありがとうございます。(2名)
- 5 継続することが大切
- 6 ご準備ありがとうございました。
- 7 ありがとうございます。これからの活動に生かしてまいります。
- 8 大変有意義でした。ありがとうございました。
- 9 企画、運営、ありがとうございました。
- 10 パネルディスカッションがためになった。地域と学校で協働したい。
- 11 本日も勉強になりました。ありがとうございました。
- 12 地区で深いお話しができました。ありがとうございました。
- 13 ①継続してもらいたい。②各地区で地区フォーラムを実施してもらいたい。
- 14 継続してください。

(社会教育の定義)

第2条 この法律において「社会教育」とは、学校教育法(昭和22年法律第26号)又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号)に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む。)をいう。

(社会教育関係団体の定義)

第10条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

(審議会等への諮問)

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が審議会等で政令で定めるものの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議(社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関)の意見を聴いて行わなければならない。

団体名等	R7年度 補助金額 (千円)	団体の概要		補助金交付趣旨及び 交付対象等	担当課
		活動の目的	構成団体数等		
厚木ユネスコ協会	70	ユネスコ憲章の精神に基づき、 人権の尊重や国際理解などの向 上に寄与するために活動	会員数 24人	厚木ユネスコ協会の 事業活動に要する経 費の一部を補助する	教育総務課
厚木市立小中学校 PTA連絡協議会	620	家庭と学校と地域社会の連携を より深め、児童及び生徒の健全 な成長を図るために活動	会員数 13,823人	厚木市立小中学校P TA連絡協議会の事 業活動に要する経費 の一部を補助する	教育総務課
指定無形民俗 文化財団体	540	郷土芸能の伝統の継承と 後継者の育成	相模人形芝居林座 相模人形芝居長谷座 愛甲ささら踊り盆唄保存会 長谷ささら踊り盆唄保存会 厚木市古式消防保存会 相模里神楽垣澤社中 伊勢十二座太神楽獅子舞保存会 法雲寺酒井双盤講 計8団体	本市に伝承する郷土 芸能を保存する団体 を育成し、後世に貴 重な文化遺産として 継承するため、郷土 芸能の保存団体に対 し、厚木市指定無形 民俗文化財育成補助 金を交付する	文化魅力 創造課
郷土芸能団体	270	郷土芸能の伝統の継承と 後継者の育成	あつぎひがし座 厚木王子高校人形浄瑠璃部 戸室手古舞保存会 林太鼓保存会 浅間太鼓保存会 相模国飯山白龍太鼓保存会 宮郷太鼓保存会 西仲はやし連 馬場太鼓保存会 厚木ばやし保存会 計10団体	本市に伝承する郷土 芸能を広く普及啓発 し、後世に貴重な文 化遺産として継承す るため、郷土芸能の 保存団体に対し、厚 木市郷土芸能伝承補 助金を交付する	文化魅力 創造課
厚木市文化協会	1,155	市民の自主的な文化活動を奨 励、援助し、芸術文化活動の向 上を図る	会員数 20団体	厚木市文化協会及び 厚木市音楽協会の育 成並びに本市の文化 芸術の向上を図るた め、厚木市文化協会 及び厚木市音楽協会 補助金を交付する	文化魅力 創造課
厚木市音楽協会	440	市民の自主的な文化活動を奨 励、援助し、芸術文化活動の向 上を図る	会員数 9団体	厚木市文化協会及び 厚木市音楽協会の育 成並びに本市の文 化芸術の向上を図る ため、予算の範囲内 において厚木市文化 協会及び厚木市音楽 協会 補助金を交付す る	文化魅力 創造課

団体名等	R7年度 補助金額 (千円)	団体の概要		補助金交付趣旨及び 交付対象等	担当課
		活動の目的	構成団体数等		
レクリエーション協会	296	生涯スポーツ・レクリエーションの普及振興を図るとともに、スポーツ団体の育成を推進する。	会員数 6団体	生涯スポーツ・レクリエーションの普及振興を図る協会に対し、運営に要する経費を補助する。	スポーツ魅力創造課
スポーツ少年団連絡協議会	252	生涯スポーツの普及振興を図るとともに、スポーツ団体の育成を推進する。	会員数 12団体	生涯スポーツの普及振興を図る連絡協議会に対して、運営に要する経費を補助する。	スポーツ魅力創造課
地区スポーツ振興会長連絡協議会	130	地区会長相互の連携、情報交換を行い、各地区での生涯スポーツの普及振興を図る。	15地区会長により構成	各地区での生涯スポーツ振興を図る連絡協議会に対して、運営に要する経費を補助する	スポーツ魅力創造課
厚木市青少年健全育成会連絡協議会	350	地区青少年健全育成会相互の連絡提携のもとに活動の充実強化を図り、青少年の健全育成を推進する。	15地区青少年健全育成会(140組織)	厚木市内の青少年健全育成団体等の連絡組織である各連絡協議会に対し、運営費補助金を交付する	青少年課
地区青少年健全育成会	9,972	15地区内の各単位青少年健全育成会相互の連絡連携のもとに、活動の充実強化を図り、青少年の健全育成を推進する。	15地区青少年健全育成会(140組織)	市立公民館事業対象区域の青少年健全育成会に対し、事業費補助金を交付する	青少年課
厚木市青少年指導員連絡協議会	246	青少年指導員の連絡、情報交換によって指導力の充実を図り、地域社会における青少年の自発的活動を推進することにより青少年の健全育成を図る。	厚木市青少年指導員100名	厚木市内の青少年健全育成団体等の連絡組織である連絡協議会に対し、運営費補助金を交付する	青少年課
厚木市子ども会育成連絡協議会	700	市内の子ども会育成会相互の連絡提携を高め、育成者としての知識と技能を高めるとともに、子ども会の健全な育成発展を図る。	23小学校区(56単位)	厚木市内の青少年健全育成団体等の連絡組織である各連絡協議会に対し、運営費補助金を交付する	青少年課
単位子ども会育成会	2,250	厚木市子ども会育成連絡協議会に加盟している各単位子ども会育成会において、育成者として子ども会活動の支援・充実し、子ども会の健全な育成発展を図る。	56単位子ども会 会員1,400人	青少年の健全育成組織である子ども会育成会に対し、補助金を交付する 補助金は、厚木市子ども会育成連絡協議会に加盟している子ども会育成会の事業の執行に要する経費に對し交付する	青少年課
厚木市ジュニアリーダーズクラブ連絡協議会	200	中学校区ジュニアリーダーズクラブ相互の連絡調整や情報共有等によって相互理解を深め、ジュニアリーダーの資質の向上を図るとともに、青少年関係団体活動への協力及び地域社会への参加を通じて明るいまちづくりの進展に寄与すること	13中学校区 136名	厚木市内の青少年健全育成団体等の連絡組織である各連絡協議会に対し、運営費補助金を交付する	青少年課
ボーイスカウト・ガールスカウト	172	スカウト運動を通じて青少年の優れた人格を形成し、かつ国際友愛精神の増進を図り、青少年の健全育成に寄与すること	ボーイスカウト2団体 ガールスカウト2団体	青少年の健全育成を行っている市内のボーイスカウト又はガールスカウトの団体に対し、事業の執行に要する経費に對して補助金を交付する	青少年課

令和7年12月19日

各市長 様

神奈川県社会教育委員連絡協議会
会 長 小 池 茂 子
(公 印 省 略)

「令和6年度神奈川の社会教育委員活動（県社教連会誌）」の
神奈川県ホームページへの掲載について（通知）

日ごろより本協議会の活動について、御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「令和6年度神奈川の社会教育委員活動（県社教連会誌）」を作成し、次のとおり神奈川県ホームページに掲載しました。

つきましては、貴市町村の標記会誌の寄稿者および社会教育委員の方々へ御案内をお願いするとともに、標記会誌を御活用いただけますと幸いです。

なお、見本誌として1部送付しますので、併せて御活用ください。

<令和6年度神奈川県の社会教育委員活動（県社教連会誌）>

【URL：https://www.pref.kanagawa.jp/docs/gt2/syakyoren_r6.html】

問合せ先

神奈川県教育委員会教育局生涯学習部生涯学習課内
神奈川県社会教育委員連絡協議会事務局 品田・村松
電 話 045-210-8347
E-mail syakyou@pref.kanagawa.lg.jp

地域学校協働活動の取組について

厚木市社会教育委員会議 議長 飛鳥井 光治

厚木市では、日常生活に密着した総合的な社会教育施設として、旧町村のエリアを基本に、15館の公民館と分館1館を設置し、市民の社会教育の場として、また地域コミュニティづくりの拠点として、地域の皆様や各種関係団体の御理解と御協力をいただきながら様々な取組を行っています。

このような取組は、地域で子どもを育てるという土壌づくりや、地域の活性化、更には教育の枠を超えた多くの場面で、厚木市の発展に寄与してきたものと評価されていると思っています。

そのような中で、より一層の家庭・地域・学校の連携・協働を図るため、平成30年には、全小中学校36校に学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が設置されました。

このコミュニティ・スクールと一体的に推進することで、相乗効果を発揮するとされているのが地域学校協働活動であり、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進むことが期待されています。

そこで、社会教育委員会議では、今後の厚木市の地域学校協働活動の在り方や検討すべき内容などについて調査・研究する必要性を感じ、令和4年度には林元春前議長のもとで、提言書を教育委員会に提出するに至りました。

全体会議や小委員会で延べ11回に渡る議論や検討を重ね、『「家庭・地域・学校のつながりを一層深め、協働して地域の宝である子どもたちを育むために」～「公民館を核にした地域づくり」と「地域とともにある学校づくり」をめざした地域学校協働活動の実現～』を表題とし、提言の方策としては、①地域学校協働活動と学校運営協議会の一体的推進、②地域学校協働活動の「総合化・ネットワーク化」の推進、③「支援」から「連携・協働」意識への変換、④新たな施策を市民に広げ魅力あるまちづくりを行う、の4点を掲げました。

詳細の内容は紙面の都合上書けませんが、教育委員会では、この提言を最大限に尊重していただき、令和3年度からのモデル地区での実施から始め、現在では11地区28校、令和7年度には、全15地区、全36小中学校に地域学校協働活動推進員が配置される予定です。

また、私が議長を拝命してからは、提言を出しただけではいけないだろうと、全市的な推進を目指すために、これまで教育委員会と共催で行ってきたフォーラムの内容を地域学校協働活動にシフトし、「地域ぐるみ協育フォーラム」として開催しているところです。（協育は協働して育むという造語です。）

今年度は、先般1月18日に開催し、遠藤進社会教育委員会議副議長をファシリテーターとして、3人の推進員と有識者1人を加えた5人が登壇して、パネルディスカッションを実施し、推進員として今まで活動してきた中で、良かった点、困った点、各々の課題など、生の声を100人近くの参加者に聞いていただきました。

厚木市では前述のとおり、公民館を中心として、学校や地域とも連携しながら社会教育活動や地域活動を盛んに行っていました。そのため、これ以上何をやるのか、何をやったらいいのか分からない、といった意見も多く聞かれます。まだまだ、各地区や学校によって、取組状況は様々であり、温度差があることは否めません。それでも、これまでの活動に「協働」という双方がウインウインになるようなエッセンスを加えて、創意工夫していくことが、今後の持続可能な様々な活動につながるものと考えております。

このような取組をはじめ、社会教育や地域づくりの各種の活動によって、未来を担う子

どもたちが、夢や可能性に挑戦でき、多様性を尊重しながら成長し、様々な組織や人々が協働して、魅力ある地域づくりを行うことで、市制 70 周年を迎えた厚木市が、今後ますます発展することが、私たち社会教育委員の願いであります。